

U-Home

U-Home

だより

〒708-1222
岡山県津山市西中 329-1

株式会社 **U-Home**

TEL 0868-36-4372

FAX 0868-36-4498

✉ u-home@mx1.tvt.ne.jp

第 62 号

お盆も過ぎ、今年の盛夏も残りあと少し（たぶん？）のところまでやってきました。

今年の7月21日に中東のクエートで54℃というものすごい気温が記録されました。これまでイラクの58.8℃やアメリカの56.7℃などが報告されていますが、信頼のおける数値としてはこれが世界一になりそうです。この調子で温暖化が進むと中東の一部では人が住めなくなりそうだという事です。

『世界的に今年は史上最も暑い夏になりそう！』

アメリカ航空宇宙局（NASA）は、4月の時点で世界の気温と海水温が観測史上最高気温を記録したと発表しました。それによると今までの4月の平均気温と比べて、今年の4月の平均気温は1.11℃上昇したという事です。たった1℃かと思っではいけません。1日1℃なら1年で365℃分の熱量の増加となるため、農作物やその他生態系に与える影響は大変なものとなってしまいます。

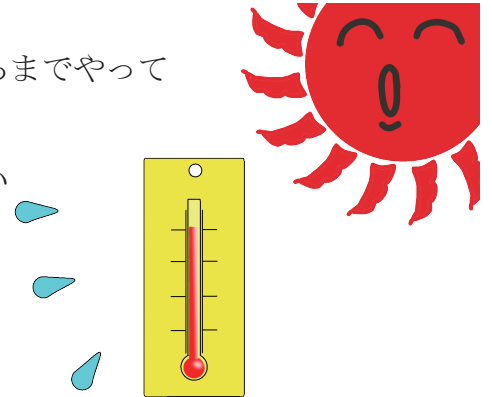
平均気温が1℃～2℃上昇するとどうなるのか？

まず、生態系が両極（南極・北極）へ、あるいは標高の高い高地に移動して行きます。今まで採れていた作物がより寒冷地でなければ出来なくなったり、日本で言えば魚がより北方でないと捕れなくなったりします。

また、少雨地域はより少雨になります。そして世界中が猛烈な早さで砂漠化して行きます。問題なのは、世界の食を担っている主要な穀倉地帯で穀物ができなくなるという事です。深刻な食糧不足に陥るでしょう。

「水の惑星」と言われる地球の97.2%は海水です。淡水はわずか2.8%です。そのうち北極と南極の氷河に堆積している淡水が2.15%です。残りの0.65%の淡水で、工業も、農業も、その他人間の営みのすべてが賄われています。

今、世界の多くの地域で水源を地下水に頼り始めています。その代表がアメリカで、世界の約10%を生産する小麦生産の約40%がすでに地下水をくみ上げて使っています。それがだんだんと枯渇してきて、何10mも掘らなければならなくなり、場所によってはほとんど枯渇し、しだいに塩分が混じり始めたところもあります。世界の一部ではすでに食糧難にあえいでいます。この先このような異常気象が続くとなると、世界の食料輸入大国「日本」はこの先どうなってしまうのでしょうか？



平成 26 年から続いていた、「エルニーニョ現象」が今年の春に終息したらしい。その後 7 月までは平穏な状態だったのだが、8 月からは逆の「ラニーニャ現象」が発生し、秋ごろまで続くという事です。

エルニーニョはよく耳にする言葉ですが、ラニーニャとはいったい何でしょう？

エルニーニョ現象が発生すると、南アメリカのペルー沖から南太平洋の中央部までの範囲で周辺より海水面温度が高くなり、世界中で異常気象を引き起こします。ラニーニャ現象はその逆で、同じ海域で周辺より海水面温度が低くなる現象です。ラニーニャの方が世界中でより深刻な異常気象を引き起こします。

ラニーニャが発生すると、日本では夏が異常に暑くなると言われています。それは、ラニーニャが発生すると、それまでにエルニーニョで温められていた海水が西の方、すなわち東南アジアの方に押しやられます。その暖かい海水により盛んに上昇気流が生まれます。その暖かい上昇気流が日本の南部で下降してきて、日本全体を温めるという図式です。

そういう事が予測されていたから、春先から今年は異常に暑くなると言われてきました。しかし、6 月も 7 月も異常と思えるほど暑くはありませんでした。ところがお盆前ぐらいから本領発揮と言った感じで非常に暑くなってきました。お盆を過ぎてからもさらに厚くなっているように感じます。

よく、昔の夏は今ほど暑くなかったと言います。今ではエアコンのない生活など考えられないことを想うと、確かに今よりは過ごしやすかったのだろーと思いますが、どうも良くは覚えていません。結婚当初の盆休みに鏡野町百谷に帰省して、朝は寒いので冬用の掛け布団が必要だったということくらいでしょうか。

去年は、史上初めて 1 月から 12 月まで毎月 1 個以上の台風が発生しました。ところが今年は 7 月 4 日になりやっと台風 1 号が発生しました。史上 2 番目に遅い 1 号台風の発生です。通常台風が来ないと深刻な水不足になると言われています。西日本は日照り続きです。そろそろ水不足が深刻になるでしょう。ところがラニーニャのためか、その後東寄りの海域で次々に台風が発生し、日本の東を通過したから、関東から東北・北海道に至る広い範囲で連日洪水の被害が起きています。

今日台風 11 号が発生しました。現在日本の東の近海では同時に 3 個の台風があります。非常に珍しいこと、まさに異常気象です。

エアコンの効いた部屋から外の風景をのんびり見ていると、穂が出そろったばかりの黄緑の水田の向こうに、濃い緑の山の稜線、その向こうに白くくっきりとした夏雲が綺麗な水色の空に浮かんでいます。なんとも平和な風景です。

このまま何事もなく、空気が爽やかに澄んだ収穫の秋がやってくるのかどうか、とても不安を覚えるのでした。





非常に熱い毎日と言えば、ただいま地球の裏側ブラジルのリオデジャネロでオリンピックが終盤を迎えています。8月5日から始まったオリンピックも明日は最終日、本当に連日熱い戦いが繰り広げられました。というのも「日本でこんなに強かった？」と思うほどの快進撃です。19日の時点でメダル総数41個と史上最多の記録となりました。順位も金メダルの数で世界6位、メダル総数で5位、と最近見たことのない順位でビックリです。

それにしても、銅メダルの数が非常に多いという事は、その競技の底堅さを示しており、今後の可能性を大いに示しており、次回2020年の東京オリンピックがとても楽しみになるところです。しかし、こここのところの連日の猛暑や頻繁にやってくるゲリラ豪雨をみていると、2020年の夏に東京で本当に大丈夫？という素朴な疑問が沸き上がるのは私だけではないでしょう。

メダル獲得ランキングを見ていると変な違和感を覚えます。

(以下は私の私的な見解であることをご理解ください。)

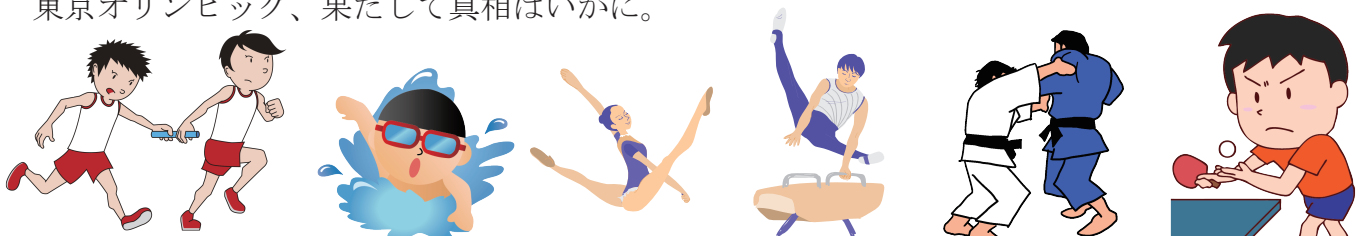
金メダルを取ることが近代国家の近道とばかりに、国家の威信をかけてメダルにこだわる姿勢の中国と韓国が今回はなんだか変だ。

中国は、アメリカに追いつけ追い越せと国家ぐるみでドーピングに手を染めてきたのだが、検査が厳しくなり、しばらくドーピングを控えたためだと一部ではささやかれています。最近ではあまりに過酷な練習のため、選手生活を終えた後は廃人の様な生活を送る人が多いことがクローズアップされたり、青春のすべてをかけて競技に取り組んでたと金メダルを取ったとしても、その後の保証は微々たるものしかなく、引退後の選手の約8割が困窮した生活を送っていることが明るみになりました。

また、ここ30年間ほとんどの国際大会で、日本よりはるか上位に位置していた韓国がこのオリンピックは日本の下位に甘んじている。韓国も常に国家ぐるみの不正をささやかれているのは中国と同じですが、やはり、インターネットやSNSで常に世界中と繋がっている生活をしている現代の競技者が、「国家と民族のために最善を尽くし、何が何でも金メダルを取る」という気持ちから解放され始めているのかもしれない。

一方日本はどうかというと、コンパクトなオリンピックをスローガンに掲げていたにも関わらず、いつの間にか巨額の設備費を計上し問題となっておりますが、日本人があまり知らないだけで、この先他国から見たらビックリするような選手強化費を計上し、東京オリンピックでは金メダル倍増だ！と言っております。まさにメダル至上主義です。

さらに、8月の東京でオリンピックを開催するのは、実はあまりの蒸し暑さに他国の選手の実力が発揮出来ない環境で、日本人優位に導こうとする考えが少しくらいあるのかも？でもそうなったら、中国や韓国と同列にでると言わざるを得ません。日本人でも？の真夏の東京オリンピック、果たして真相はいかに。





8月7日（日曜日）に「第14回 こどもとおとなの工作教室」を開催しました。今までは、「大人の木工・子供の工作教室」として大人と子供は別々の種目を作成していただいていたが、今年からは「木工」「木の迷路」「泥だんご」「万華鏡」「七宝焼き」の5種類のうちから大人も子供もどれか一つを選択できるようにしました。

35組136名様と、今年も大変たくさんのお客様のご来場をいただき、皆様本当に熱心に作品と取り組んでくださいました。

今回は、お盆前毎年恒例の行事だから、OBのお客様も分かってくださっていると、私どもが勝手に判断して、今年は新聞折込のみのご案内にしました。結果、例年よりOBのお客様の分だけ少ないという集計になりました。楽しみにしていたお客様には、大変申し訳ないことをいたしました、お詫び申し上げます。来年は必ずお客様のもとにご案内が届くように考えておりますので、今後ともよろしくお願いいたします。

毎月第2土・日は 専門家と創る

リフォーム相談会

今までユーホームは、毎月第2日曜日は「一級建築士による住宅無料相談日」ということで事務所を開けておりましたが、弊社に来たことが無いお客様にとって、弊社の敷居をまたぐという事は非常にハードルが高いことです。そして、いくら私どもが相談無料とか見積無料と言っても、普通の方ならいったん相談したからには断りにくいという気持ちがあると思います。

したがって、今後はもっと来やすく、相談なりお話ししやすい場とするために、弊社とは別の、クリナップ展示場をはじめその他の場所で開催することにしました。

基本的には、『毎月第2土曜日と日曜日の午前10時～午後5時』です。

具体的には毎回新聞チラシでお知らせします。お仕事などの都合でどうしても土・日曜日の方が都合が良いというお客様は、どうぞお気軽にご利用ください。

会場は水回りの展示場ですが、相談内容は水回りに限らず、建築全般、いったい誰に相談してよいか判らないことまで「何でも」お受けします。

また自分が何をすれば良いかわからないというお客様が結構いらっしゃいますが、そこは私たちの経験で、きっと良い回答が見つかると思いますので、お悩みをお抱えのお客様も、ぜひ勇気をもって打ち明けていただきたいと思います。

最終的には、見積のためには現地調査をさせていただかなくてはなりません。行ったり来たりするのは面倒だから、とりあえず来てほしいと言われるお客様には、直接お伺いしますので、お電話でその旨をお申し付けください。（☎0120-36-4372）

なお、平日に都合のつくお客様は、今まで通りお気軽にお電話でお問い合わせや見積依頼をお願いいたします。

平成28年8月21日